

岡田一夫 略歴 群炎美術協会事務局委員  
奨励賞／遠藤額櫛賞／群炎賞／マツダ賞



ゆう子 in 南青山 F15 岡田一夫

一級建築士、アルピニストの彼が、内に溜めていた思いを画面に紡ぎ出して二十数年、彼の作品は、身にまとう山嶺の靈気を、確かな基壇の上に積み重ねるやり方で、描き込んでおり、時として、内部から透明な光が射しかけるような思いさえする。

ところで、彼本来の主題は、最も身近な者たちへの限らない「愛」の表現にある。私は、その作品の前で、彫刻家ロダンの「若き芸術家たちに」の一節を思い起こしている。

いつも身近かな者を描いている敬愛する画家フィディアスへの讃辞である。「展覧会の中にあつて、大多数の絵は、他人の眼鏡で描いています。しかし、彼は「人間」のまなざしで描いています。人生に開かれた窓のように……」

岡田 一夫 — 溪谷の清冽なせせらぎ —

神田 亮



母 P80 海老原俊雄

海老原俊雄 略歴 群炎美術協会会員 群炎賞／埼玉  
勤労者美術展知事賞／埼玉二科展知事賞／日展入選